



浸水ナビを使って
水害シミュレーションを
見てみよう

目次

1. 浸水ナビを知りましょう

- 1-A 浸水ナビとは P2
- 1-B 浸水ナビでできること P3

2. 浸水ナビの準備をしましょう

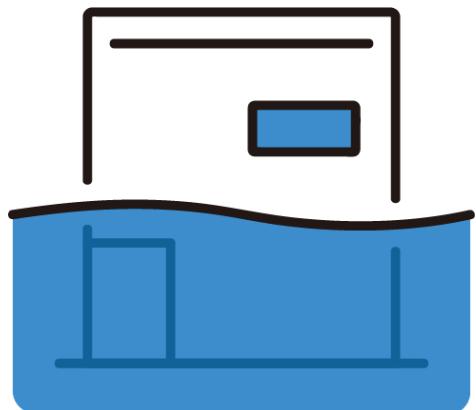
- 2-A 浸水ナビを検索しましょう P5
- 2-B 浸水ナビをブックマークしましょう P11
- 2-C 浸水ナビをホーム画面に追加しましょう P18

3. 浸水シミュレーションを活用しましょう

- 3-A 浸水シミュレーションの条件 P24
- 3-B 想定破堤点を調べよう P25
- 3-C 浸水想定を調べよう P28
- 3-D 河川の水位情報を調べよう P32
- 3-E よくあるご質問 P33
- 3-F 問い合わせ先 P34

1

浸水ナビを知りましょう

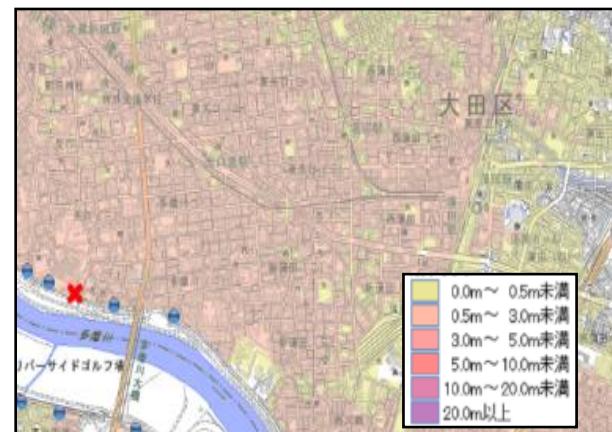


「浸水ナビ」とは、検索した地点や河川の浸水シミュレーションを地図上に表示するウェブサイトです。



洪水時の被害を最小限にするためには、住民のみなさん一人一人や企業などが平時より水害による被害のリスクを認識した上で、氾濫時の危険箇所についての情報を知っていただくことが何より重要です。

国土交通省では、国や都道府県が行った、河川の浸水シミュレーションの結果を「浸水ナビ」として公表しています。



- ・ どの河川でどの場所が決壊(破堤)したらご自宅や会社が浸水してしまうのか知ることができます。
- ・ 堤防決壊(破堤)後、どこが、いつ、どの程度浸水するのか変化をアニメーションやグラフで見ることができます。
- ・ 大雨の際にどこの水位観測所を見ておけばよいのかがわかります。また、現在の水位がわかるホームページにもリンクしています。

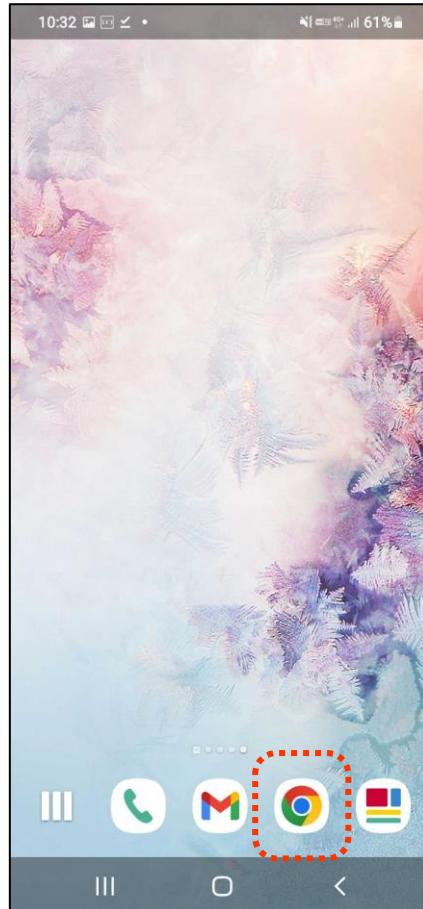
浸水ナビを利用して
身のまわりの水害リスクを確認しておきましょう

(実際の使い方は後でお話します)

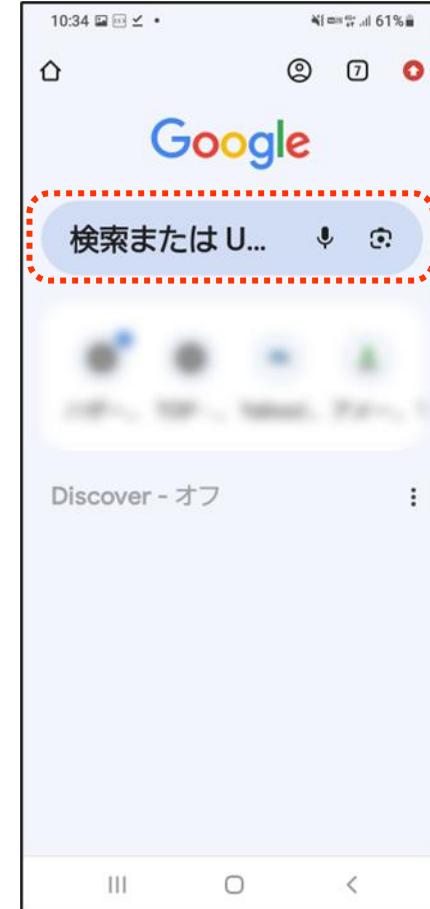
2 浸水ナビの 準備をしましょう

浸水ナビのサイトを検索します

- 1 Chrome  を押します



- 2 検索用の枠を押します
(赤枠内)



Androidの場合

浸水ナビのサイトを検索します

③ 「浸水ナビ」と入力します



④ 画面右下のボタン
「移動」を押します



Androidの場合

浸水ナビのサイトを検索します

5 検索結果から「浸水ナビ」を
押します



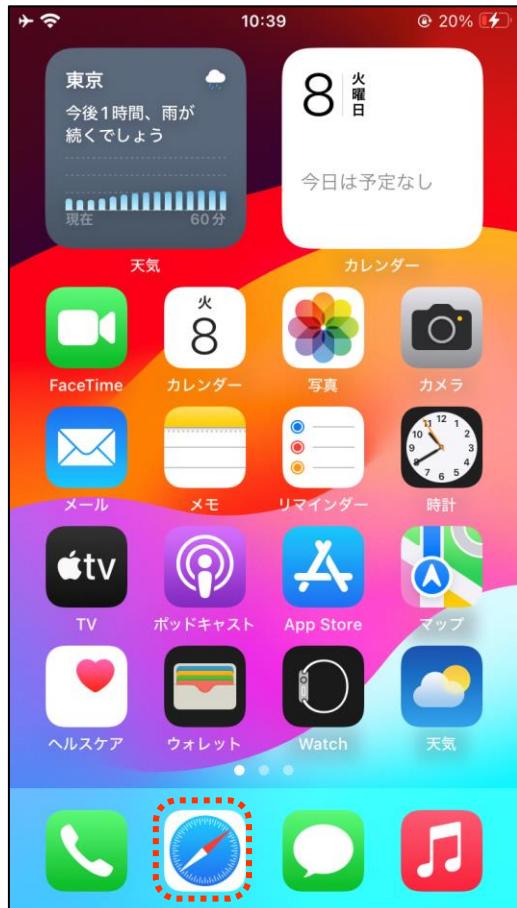
6 浸水ナビのサイトが表示されます



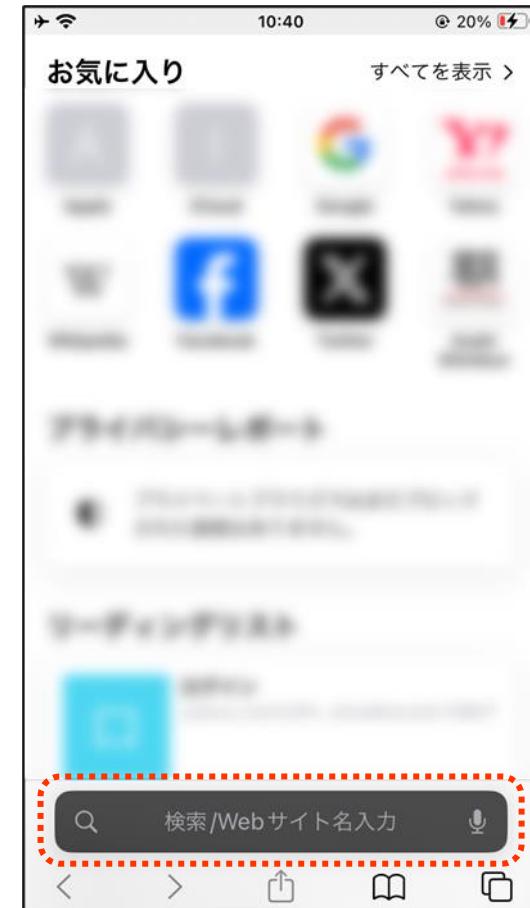
Androidの場合

浸水ナビのサイトを検索します

- ① Safari  を押します



- iPhoneの場合
- ② 検索用の枠を押します
(赤枠内)



浸水ナビのサイトを検索します

- ③ 検索ボックスを押して
「浸水ナビ」と入力します



iPhoneの場合

④ 「開く」を押します



浸水ナビのサイトを検索します

- 5 検索結果から「浸水ナビ」を押します



iPhoneの場合

- 6 浸水ナビのサイトが表示されます



浸水ナビをブックマークしましよう

Androidの場合

- 1 画面右上の3つの点のボタン⋮を押します



- 2 ★を押します



浸水ナビからわかること

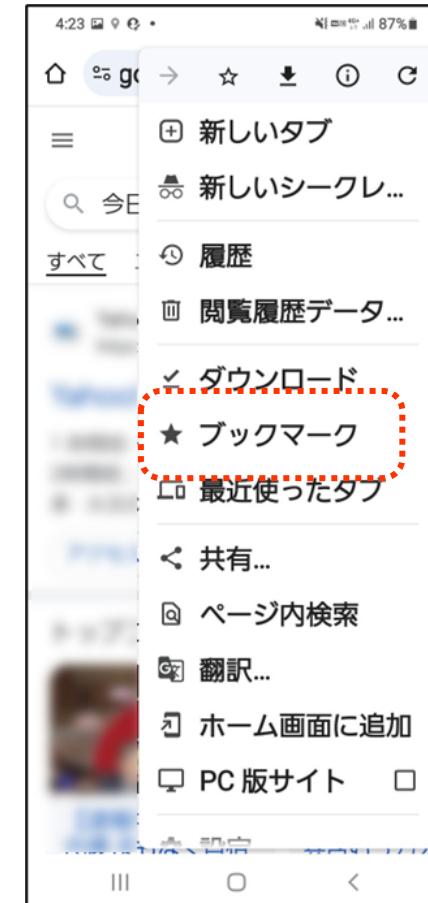
ブックマークしたページを開きましょう

Androidの場合

- 1 画面右上の3つの点のボタン⋮を押します

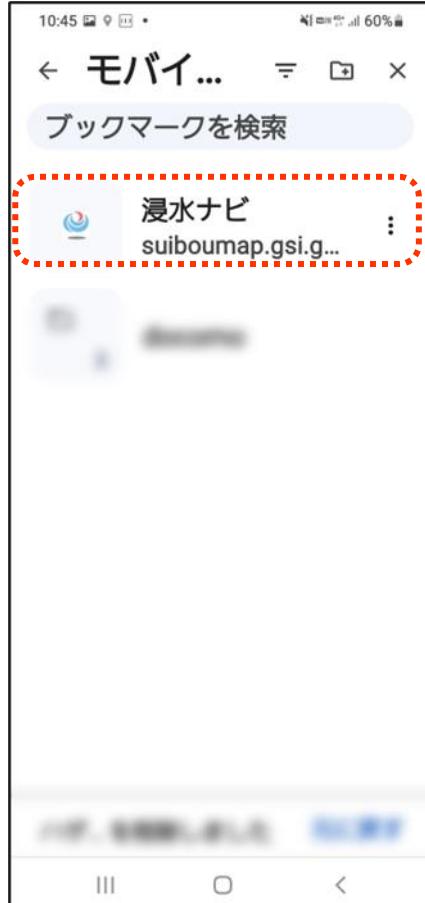


- 2 「ブックマーク」を押します



ブックマークしたページを開きましょう

- ③ 開きたいページを
押します



- ④ 見たい画面が表示されます



Androidの場合

浸水ナビをブックマークしましよう

1 画面下部の を押します



2 「ブックマークを追加」を押します(赤枠内)



iPhoneの場合

浸水ナビをブックマークしましよう

iPhoneの場合

③ 「保存」を押します



ブックマークしたページを開きましょう

iPhoneの場合

- 1 画面下部の  を押します



- 2 開きたいページを
押します



ブックマークしたページを開きましょう

iPhoneの場合

③ 見たい画面が表示されます



浸水ナビをホーム画面に追加しましょう

Androidの場合

- 1 画面右上の3つの点のボタン⋮を押します



- 2 「ホーム画面に追加」を押します



浸水ナビをホーム画面に追加しましょう

Androidの場合

③ 「追加」を押します



④ 「作成する」を押します



浸水ナビをホーム画面に追加しましょう

Androidの場合

5 ホーム画面に追加されます



浸水ナビをホーム画面に追加しましょう

iPhoneの場合

1 画面下部の を押します



2 「ホーム画面に追加」
を押します



浸水ナビをホーム画面に追加しましょう

iPhoneの場合

③ 「追加」を押します



④ ホーム画面に追加されます



3 浸水シミュレーションを 活用しましょう

「浸水ナビ」で表示する浸水シミュレーションの結果は、想定し得る最大規模の降雨などにより、仮に堤防が決壊した場合や川の水が堤防などを乗り越えてあふれ出した場合の浸水域の広がりや浸水深の変化を示すものです。

注意点

- 浸水ナビでは、浸水シミュレーションデータが掲載されている河川のみ検索可能です
- 浸水ナビは浸水シミュレーションのデータを編集等せずに掲載しているため、国や都道府県が公表している図面と差異が生じている場合があります
- 想定される降雨を超えた大雨となった場合などには、氾濫の広がり方等がシミュレーションで表示されるものとは異なる場合があります

浸水ナビを使って身近な場所の想定破堤点を確認してみましょう

1 「浸水シミュレーションを確認する」を押します



2 画面左上の を押します



浸水ナビを使って身近な場所の想定破堤点を確認してみましょう

③ 検索窓を押します



④ 「多摩川」と入力し を押します



※この検索では、
・駅等の地名
・市区町村名
・河川名
・緯度経度
など様々な条件で
検索ができます

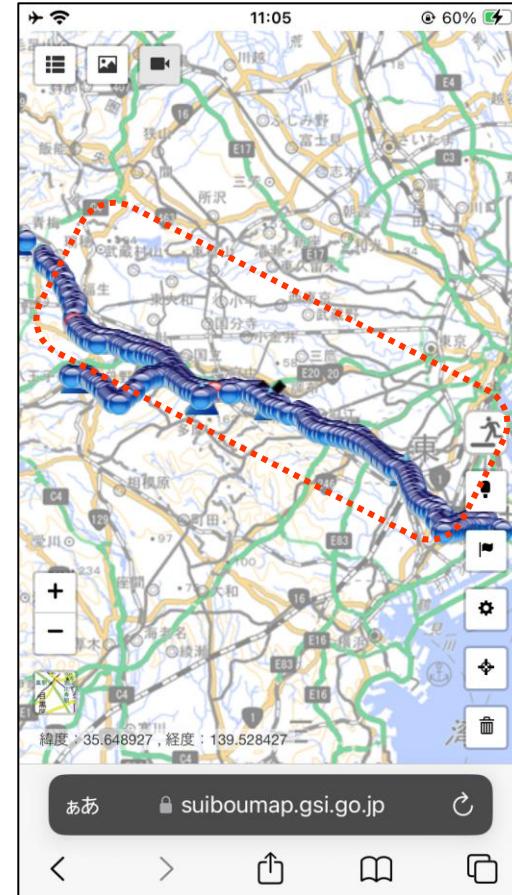
浸水ナビを使って身近な場所の想定破堤点を確認してみましょう

5 調べたい場所の「表示」を押します



※ここでは河川名で検索しているため、河川の想定破堤点が全て表示されています

6 想定破堤点が表示されます



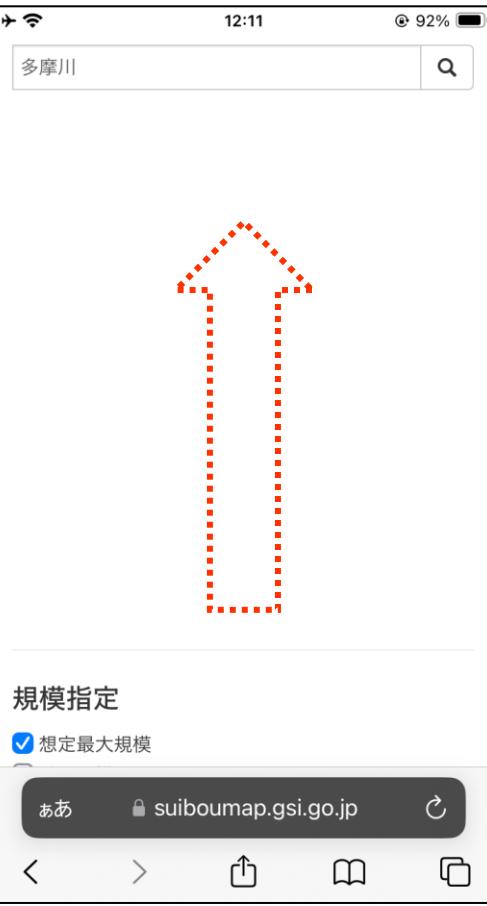
※二本の指で開いたり閉じたりすることで地図を拡大・縮小することができます

調べた想定破堤点が破堤した場合の浸水想定を確認してみましょう

- 1 破堤点を表示した状態で画面
左上の  を押します



- 2 画面を下から上にスクロール
します



調べた想定破堤点が破堤した場合の浸水想定を確認してみましょう

- ③ 一覧の中から浸水想定を見たい破堤点を押します

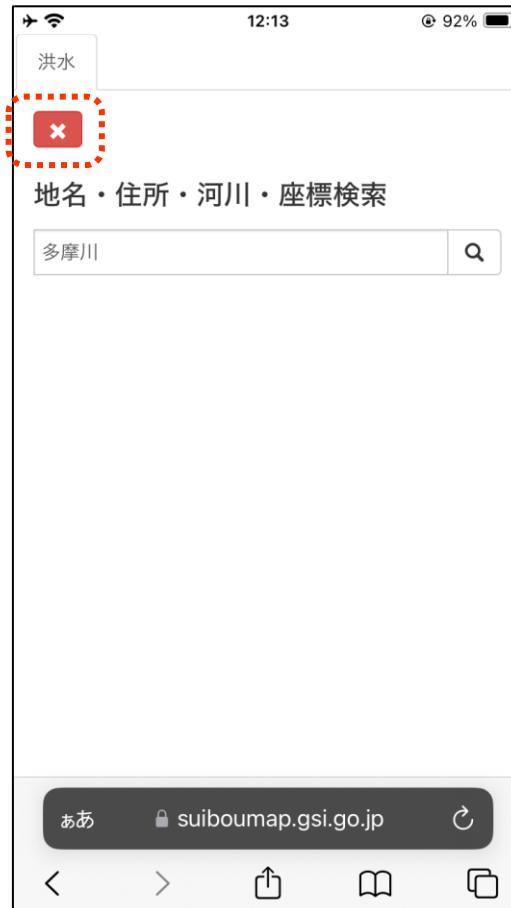


- ④ ✓ が入ったことを確認し上から下にスクロールします

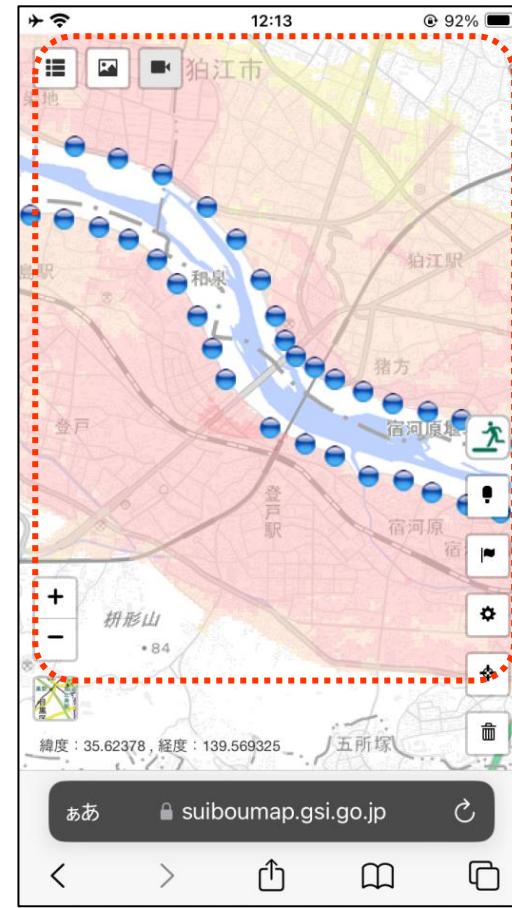


調べた想定破堤点が破堤した場合の浸水想定を確認してみましょう

- 5 左上の  を押します

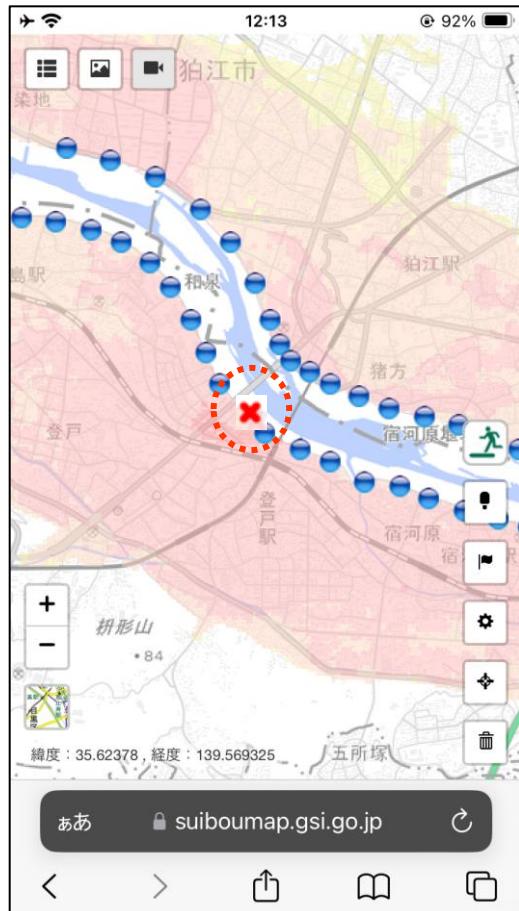


- 6 浸水想定がグラデーションで表示されます



調べた想定破堤点が破堤した場合の浸水想定を確認してみましょう

- 7 地図上で破堤点を押すとその地点の浸水想定を見ることができます



- 8 地図を押すとその地点の水深を確認することができます



ここまで調べてきた河川の現在の水位情報を確認してみましょう

- ① 確認したい破堤点を
押します



- ② 「現在の水位状況(川の防災
情報へリンク)」を押します

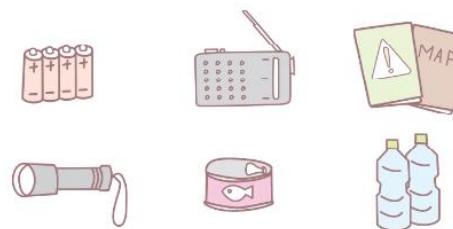


※遷移後の
状況につい
ては「川の
防災情報」
ご担当者へ
ご確認お願
いいたしま
す

○住んでいる市区町村から配布されたハザードマップとは異なる情報が表示されます。どちらが正しいでしょうか？

→「浸水ナビ」は、国や都道府県の機関が作成した浸水シミュレーションの結果をまとめたウェブサイトですが、[最新の情報ではない可能性](#)があります。

→ 洪水のリスクに関する最新かつ詳細な情報については、必ず[市区町村が作成するハザードマップをご確認ください。](#)



浸水ナビホームページ

<https://suiboumap.gsi.go.jp/>

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室

国土交通省 国土地理院 応用地理部 地理情報処理課

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番

(代表電話) 029-864-1111

総務省デジタル活用支援推進事業 教材一覧(応用講座)

- マイナンバーカードを健康保険証として利用しよう
 - ・公金受取口座の登録をしよう
- マイナンバーカードを申請しよう
- マイナンバーカードの機能をスマートフォンに搭載しよう
- マイナポータルを活用しよう
- スマートフォンで確定申告(e-tax)をしよう

スマホを使って
マイナンバーカードを
活用しましょう

- オンライン診療を使ってみよう
- 全国版救急受診アプリ(Q助)で病気やけがの緊急性を判定しよう

スマホを
健康や医療に
活用してみましょう

- ハザードマップポータルサイトで様々な災害のリスクを確認しよう
- 浸水ナビを使って水害シミュレーションを見てみよう
- 地理院地図を使って身近な土地の情報を知ろう

スマホで
防災・地域について
知りましょう

- 生成AIを使ってみよう
- 文字表示電話サービス(ヨメテル)を使ってみよう
- スマホで年金の情報を確認しよう(ねんきんネット)
- デジタルリテラシーを身につけて安心・安全にインターネットを楽しもう

●デジタルリテラシーを身につけて
安心・安全にインターネットを楽しもう